

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	電気回路学第一演習		
英文授業科目名	Exercises in Electrical Circuits I		
開講年度	2007年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	張 熙		
居室	西2 - 607		

公開E-Mail	授業関連Webページ
xiz@ice.uec.ac.jp	http://www.xiz.ice.uec.ac.jp/cas/

【主題および達成目標】
「電気回路学第一」の講義内容をより深く理解するために演習を行う。

【前もって履修しておくべき科目】
微分積分学第一、微分積分学第二、線形代数学第一、線形代数学第二。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
一年次必修科目としての数学および物理学関連科目。

【教科書等】
教科書：齋藤正男著：「電気回路・システム入門」（コロナ社） 参考書：デソー、クウ著、松本訳：「電気回路入門（上・下）」（ブレイン図書出版）

【授業内容とその進め方】
演習の項目は「電気回路学第一」と同様であり、講義と並行して演習問題を解いてもらう。決められた時間内にレポートの提出を義務づける。

電気通信大学 平成19年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法

提出されたレポートと授業態度や質問などの積極姿勢を考慮して総合評価する。

成績評価 = (勉強姿勢 × 40%) + (レポート × 60%)

(b) 評価基準

(1) RLCを含む簡単な回路方程式が立てられること。

(2) その一般解が求められること。

(3) 正弦波交流回路の方程式が記述できること。

以上のことが単位取得のための最低基準である。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けないが、質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

電気回路学は電気電子情報通信工学系の全ての学生が共通に学ぶ基本科目である。

将来皆さんがこの分野の技術者として活躍するためには必ずマスターしておかなければなりません。

授業に積極的に参加することは言うまでもないが、特に予習復習に重点をおき、教科書の演習問題についても積極的に学習することが望ましい。

【その他】